

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 4 月 20 日 (2006.4.20)

【公開番号】特開 2003-284710 (P2003-284710A)

【公開日】平成 15 年 10 月 7 日 (2003.10.7)

【出願番号】特願 2003-60744 (P2003-60744)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/00 (2006.01)

G 0 1 T 1/00 (2006.01)

G 0 1 T 1/20 (2006.01)

G 0 3 B 42/02 (2006.01)

H 0 4 N 5/335 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/00 3 3 3

A 6 1 B 6/00 3 0 0 S

G 0 1 T 1/00 B

G 0 1 T 1/20 E

G 0 1 T 1/20 J

G 0 3 B 42/02 B

H 0 4 N 5/335 A

A 6 1 B 6/00 3 5 0 S

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 3 月 2 日 (2006.3.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 7】

高速取得手法は一般的には、固体検出器にアーティファクトを生ずる傾向を有する。如何なる画像取得であれ、アーティファクトを最小限にし且つ／又は除去して、画像の診断値の劣化を防がなければならない。これらのアーティファクトにはピクセル・アーティファクト、線アーティファクト及び形状アーティファクトがあるがこれらに限定されない。これらのアーティファクトの原因の例には、遅延、ゲイン・ヒステリシス、及びタイミング・モード変更がある。これらのアーティファクトは、X 線画像又はオフセット画像のいずれにも現われる可能性がある。このようなものとして、高速撮像読み取りシナリオは、如何なる画像アーティファクトも混入させずに限界時間を最適化するものでなければならない。

【特許文献 1】米国特許第 6 4 1 8 1 8 9 号